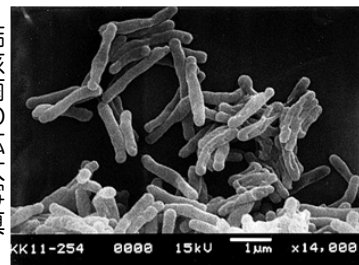


その咳、痰… もしかしたら結核かも！？

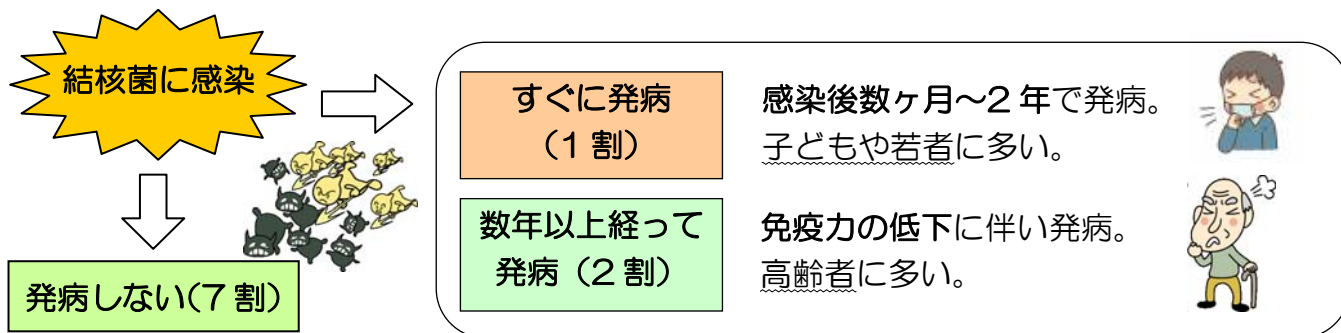
結核ってどんな病気？

空気感染する病気です

結核菌の拡大写真



- 結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。
- 結核菌の混ざったしぶきが咳やくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによって感染します。
- 感染しても、全ての人が発病するわけではありません！多くの人は免疫力により結核菌の増殖を抑え込み、発病しません。感染からの経過は3通りに分けられます。



結核予防会監修パンフレットより引用

結核ってまだあるの？

結核は現代の病気です

- 結核は過去の病気と置いていたら、大間違いです。
- 医療や生活水準の向上により、戦前・戦後と比べれば結核患者は少なくなりましたが、今でも日本全国では、1日に62人の新しい結核患者が発生し、6人が結核により命を落としている重大な感染症です。

高齢者に多い結核

衣浦東部保健所管内では、毎年約80人が結核を発病しており、平成24年は7割強が60歳以上でした。

ひとり暮らしの壮年期以降の男性が、重症化して発見される傾向にあります。

重症化すると、治療困難な場合があります。

日本国内の結核 (平成23年)

結核新登録患者数 (新たに結核と診断され登録された患者)	22,681人	り患率 (人口10万人対)	17.7
結核死亡者数	2,166人	死亡率 (人口10万人対)	1.7

結核を予防するには？

普段から健康的な生活を心がけ、免疫力を高めておくことが重要です

無理な減量や、食べ物の好き嫌いをせず、**バランスのとれた食事**をしましょう。



睡眠を十分にとりましょう。



抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、生命を危うくすることすらあります。重症化を予防するためには、**BCG接種**が有効です。市からの案内に従って、遅くとも生後1年以内に接種しましょう。



ストレスは上手に解消しましょう。

タバコはやめましょう。



結核を早期発見するには？

2週間以上続く咳や痰は要注意



○結核の主な症状は、**咳、痰、微熱、血痰、胸痛**です。その他の症状として、息切れ、呼吸困難、背部痛、食欲不振、体重減少、全身倦怠感 等があります。症状が、よくなったり悪くなったりを繰り返すときは、早めに医療機関に受診し、結核の心配がないか医師に相談しましょう。

○高齢者は急に容態が悪化することがあります。また発病しても呼吸器症状がなく発見が遅れることもあるので、毎年1回は胸部レントゲン検査を受けましょう。

○職場健診や市民健診等で胸部レントゲン検査を受ける機会のある方は、必ず検査を受けましょう。

もし、結核を発病しても . . .



○結核は、定期健診等で早期に発見されれば人にうつす可能性は低く、通院で治療をすることができます。

○現在は様々な結核の治療薬が開発されており、結核を発病しても、大部分の人は3~4種類の薬を6~9か月間飲み続けることで、治すことができます。

○結核の治療には、医療費公費負担申請制度があり、医療費の補助を受けることができます。

問い合わせ先

衣浦東部保健所 健康支援課 地域保健グループ

TEL : 0566-21-4778 (代表)

